

基本計画(案)修正の方向性(たたき台)に係る意見等一覧(10/3(月)提出)切

No.	意見内容	たたき台 該当ページ
1	・P11 及び P17 に出てくる「駅前にふさわしい土地活用の促進」の「促進」を削って下さい。 駅前をどうするか、公民館跡地をどうするかは「時間軸のもとに」「長期的な視点」「段階的に」考えた行く必要があると述べているのだから、ここだけ「促進」は異様です。 P11【～土地活用。P17【～土地活用を図ります】でイイと思います。	P11、P17
2	旧計画に比べて、「理念(コンセプト)」によく取り組んでいる、と思いました。 旧計画が理念をすっ飛ばして、「複合施設を公園内に建てたら、他所から人がどんどん来て、金を落すぞ！」見たいな発想だったことに比べると、一般市民、近隣住民の側に、行政が立ち位置を変えてくれたことが分かります。ありがとうございました。 でも、だから、この理念を保持しつつ、建築を具体化していく行程はまだまだ先がありますね。 その間に(大きく言えば)日本国がどうなるのか、円安は？ 少子化は？ と悲観的な不確定要素が多くて、担当者は大変だと思います。 これから、「庁内調整」だそうですが、新しい基本計画(案)は、「理念の明記を中心にした案」という形で、出来ますか 行財政改革プランは、「市民検討会の検討結果を踏まえる」と言ったのだから、検討会でまとまってきた「理念(コンセプト)」は、尊重して、それと矛盾するような加筆、修正はしていただきたくない、とと思っています。	全体への感想
3	● 施設配置案を、オープンハウスで多かった2案(池北側案と北西案)に絞る ● 当初は「正面案にも14%も賛同があるんだなあ」と、もっと少ないと思っていた私には驚きでしたが、オープンハウスの年代別回答を見ても、若い世代ほど正面案の賛成が少ないことに気づきました。 推測ですが、交通公園が削られることは、高齢者は使用しない設備なので抵抗は少ないのかもしれないですが、利用者世代、特に今回の検討会の「次世代に引き継ぐ」という事を考えると、やはり正面案は採用しない方がいいと思います。景観的にもイマイチですし... 3案とも基本計画案に載せると、様々な想定が出来過ぎてしまい実際の計画策定にさらに時間も検討もかかってしまうので、2案に絞る方向でご検討いただきたいです！ 本当は検討会の場で検討して決めたいところですが、いきなり次回で2案に決定まで持っていきけるかどうか、ですよね。 あらかじめ資料送付いただいて、当日ほかの委員さん達のご意見や雰囲気にもよりますが、...	その他
4	災害対策、ユニバーサル対応について、更新される公共施設としては当たり前のことかもしれないことも一般の市民には当たり前かどうか分からない、あくまでも今までの施設との比較で考えます。 なので、分かりやすいように書いてあれば、安心して公園や施設の変更の計画が受け入れやすい気がします。 前回意見が出た「ピクトグラムを活用」することで多くの国の人にもわかりやすくする、ということも一言あるだけでも「どういう配慮をしているんだ」ということがわかりやすくなると思います。	その他
5	国際交流ラウンジからの委員がまちづくり会議で意見を出していましたが、計画案などを外国人市民にも読めるようにすることはこれからは、当たり前なのかなと思います。 国際交流ラウンジが対象施設である計画ならなおさらで、私自身身がついていなかったことにハッとしてました。	その他
6	前回の検討会でも発言したのですが、これまでに検討会で委員から出たアイデアやこんなことを大事にしたいと思って考えてきたということが、まとめて見えたらいいと思います。 これまでの取組状況に、オープンハウスのパネルの図が出ていて、それが集大成ということなのだと思いますが、それぞれのWGから出ていた、公園、複合施設、駅周辺の様子がどんなものか見えてほしいです。オープンハウスのパネルでわかることは「配置」なので。	P6～10
7	同様に、この資料の中にこれまでのまちづくり会議の取り組み、まちづくり懇談会でのテーマも載せられるべきだと思います。(たたき台では、市民検討会立ち上げ後のまちづくり会議の姿が見えないので)	P6～10
8	検討会でも意見を言いましたが、p17にある跡地での「地域の課題解決等」の箇所、「地域の課題」が限定的なのが気になります。 「財源確保」だけではなく「地域の交流」や「防災」「地域での活用によるまちづくりの活性化」「南口、北口の連携」など地域の課題は多様です。そういう事も話してきたつもりです。 もう少し、跡地活用に「売る、貸すなどで財源確保」以外の視点を入れてほしいです。 (計画案としてそのようなものを入れるつもりがないなら、せめてこれまでの取組状況の中に。)	P17
9	青少年学習センター移転により、矢部の小学生以下の遊び場がなくなることへの心配があります。 そのような意見があったこと、今後配慮がされるよう担当部署へ意見を伝えていること、が、どこかに書いてあると、分かりやすいし安心だと思います。	その他
10	どうしてもパッと見て、「前回のパブコメで多かった意見にも関わらず、公園内に複合施設を建てる計画」に見えてしまうことが気になります。 これまでの取組状況の「パブリックコメントを受け」とありますが、パブリックコメントで多かった代表的な意見だけでもここに出ると、市民検討会が立ち上がるまでの流れがわかり、よいと思います。	P1
11	各施設が一つになるということは、これまでは別々に行っていたイベントが一つの建物で行われるということです。 これまでと同じような頻度でできるのか、イベントが増えることで施設が使えない期間が増えて活動ができない期間が長くなるようなことがないか心配という意見を聞きました。 そこをどう対応しようとしているのかも、示してほしいです。	その他
12	施設の中身や公園の細かいところについては、この計画が策定後にまた地域住民の意見を聞く機会を設けること、まちづくりについては時間差で行われることになりましたが、パブコメや検討会で出てきた課題にソフト的に対応できることは先に対応してより使いやすい、過ごしやすいまちづくりを進めていくということも書いてあるとよいと思います。	その他
13	お疲れ様です。以下の通り基本計画案たたき台の文章について気になった箇所書きましたので、ご確認の程宜しくお願い致します。 基本的に個人的に基本計画案に盛り込んで頂きたいと考えていた内容については最低限入れて頂けたと思っています。一方で、同じ文言でありながら理解の方向性が多少違うのかなと思える部分も未だ残っている状況で、それらについては、個人的にはあいまいままま今後に引き継いで煮詰めていられるように思っています。	感想
14	文章としてややおかしいように思います。また、単なる民間への売却等ではなく、市民全体の財産でもあるわけですから、「市民全体もしくは地域住民の市民生活の向上・活性化に資する事(もしくはその為の財源確保)を条件として地域や民間に賃付、売却を行う…」と条件づけをした方がいいと考えます。	P2
15	まちの現状と課題の文章全体として、やや商業的ニーズの向上に力点が偏っていると感じます。「効果的な土地活用によって商業的ニーズの他、地域全体の回遊性の向上、複合施設及び鹿沼公園等の更なる利用を促し、総合的に淵野辺駅前地域の活性化につなげる。」のような形で、2・4項目についてはまとめてもいいのではと思いました。	P3～4
16	また、第一章の中で、今回再整備対象施設となっている施設群が、複合施設化する事のねらいのような項目があってもいいと思いました。 要するにWGで話してきた内容になるかと思いますが、公園と複合施設の一時的整備でより密接な使用の在り方を目指し、図書館や公民館等の施設が複合化することで、相互の施設利用者への他施設への関心の高まりや交流のきっかけとなる事を期待出来る等分散配置と比較して大きな相乗効果が期待でき、包括的に地域としての活性化に繋がる事が期待できる等。	第1章
17	「緩やかなつながり」という文言が出てきますが、図書館敷地は、駐車場としてのみ使用するという事であれば、また、駅前と鹿沼公園とのつながりについてもこの計画案では十分に示されているとは私には思えません。そのあたりもう少し明確に示す内容があってもいいように思いました。	P8(全体)
18	オープンハウスの際は、回答して下さる方の事を考えて、必要最小限の内容の方がいいと大谷先生から話があったが、計画案の資料では、ダイジェスト化する必要はないと思いますし、スペース的にも余っているわけですから、もう少し公共施設WGでの検討内容を掲載してもいいのではと思いました。	P10

基本計画(案)修正の方向性(たたき台)に係る意見等一覧(10/3(月)提出べ切)

No.	意見内容	たたき台 該当ページ
19	ここについても2-1でも大きな財政的負担が生じると記載がありますし、コスト的、工期的等予算面でのマイナスから複合化が選択されたというような事が殊更強調され過ぎていると個人的には感じます。上でも書きましたが、 公園と複合施設の一体的整備や配置についてこれまでWG等が出てきた、もう少しポジティブな観点を交えた説明が必要だ と個人的には考えます。	第2章
20	6段目:個人的意見ですが、鹿沼公園の樹木は、老木化は確かでしょうが、やはり現状においても図書館を利用して外に出て公園の樹木に目を向けた時にホッとできるような景観が広がっていると思います。「再生の森」という表現ですと、現状が惨憺たる印象を受けますが、そういう事ではなく、あくまで 四季の緑豊かな景観等を損なう事がないように将来に向けて、「持続可能な樹林として大事に管理していく」 というような内容でいいのではと思いました。	P13
21	オープンハウスでも3件ほど、 現図書館の駐車場敷地の活用を挙げておられる意見があります。経済的要因は用地選定の大事な部分だ というのは理解しますが、それだけでいいのかというのが私の意見です。私達の世代やそれ以前の世代が何を考えてきたのか、それが次世代の市民にも形でこの場所を通してわかる事も非常に重要な事だと考えます。一切過去からの継続性のないまちづくりには私は賛成出来かねます。何のために公民館を中心にこの地域の文化や歴史を題材にした行事を行っているのかという事にもなると思います。鹿沼公園については継続性も大事だという記載があります。	P14
22	公共施設再整備のコンセプトとして、p.20(ア)で中央図書館機能の確立・充実という事が謳われている事や、(イ)地域の情報拠点としてのサービスの充実、(エ)その他充実を目指す機能で、知的好奇心の喚起(気づき)を誘発できる、総合的な生涯学習活動の拠点となるよう整備をすすめます。とある事を受けて、「 誰もが求める学びにアプローチ出来る事を目標とする。 」というような、言わば現状において、経済的な問題から或いはコロナウイルス蔓延等疾病によってリモート学習を強いられているとか、望む学びが十分得られていない学生等であっても、図書館や公民館等複合施設に来れば、備わった設備・資料等の活用によってそれを少なからず補い得る 充実した学びの機会を得ることが出来る事を目標 するような事を示す文言を入れてはどうかと思いました。	P15
23	複合施設の全体の想定規模の記載がありますが、p16では、延床面積:7500m ² 、図書館:4000m ² となっており、p19では、延床面積は同様ですが、 建築面積:2480m² となっており、 恐らくは3階建の建造物を想定している事だ と思いましたが、 正直私のような素人にはパッと見わかりづらい というか 誤解を招く可能性 があると思いました。多少の補足があった方がいいかと思いました。	P16、P19
24	この点については検討会でも申し上げましたが、前々回の検討会だと思いましたが公園WGの議論を聞かせて頂いた際には、一切出てきていない話であり、また、数が足りなければ、複数設置も検討するとの話が、公園課職員から出ました。その理由として、市の方針で新たな建造物の設置が出来ないからという旨の話がありました。しかし、新たな建造物を作る事が出来ないとは言っても、駐車場という施設は、施設があれば基本的には備わっているべき基本的な施設であると思います。また、確かに駅前だから公共交通をなるべく利用すべきという事も聞かれます。ですが、交通の便が十分整備されているのであればいいですが、私も小田急線沿線に住む住民ですが、小田急線に住む住民ですと町田乗換でJRという事になり、それであれば、町田市の図書館の方が遥かに便利だという話になります。神奈中バスにしても淵野辺まで直行のバス路線はありません。もちろん相模大野にも図書館がありますが、伊勢丹閉館後非常に不便を強いられているという事情もあります。ですで、どうしても自家用車で淵野辺へという機会が多いという事はまずご理解頂きたいと思います。そして、市の方針で新たな建造物の設置が出来ないからという事で駐車場から何から一切合切を同列で考えるのは私は少し違うと考えます。また、複数駐車場を設置するのであれば、当然交通動線がまたそれだけ複雑化する事になると思います。その事を踏まえての議論も公園WGでも十分議論できてないと同っています。そこについてはまだ議論が必要だと考えます。更に、平置き駐車場の場合、当然の事ながら、複数駐車場を設けるのであれば、排ガス等環境に与える負荷が増える事になりますし、また盗難等防犯の面でも当然ながら屋内型よりリスクが高くなると考えられるわけです。何より、再整備によって利用者の増加を想定していると言っている一方で、その受け入れ態勢があいまいというのでは、計画案として全体として見た時に疑問を持つ市民もいらっしゃると思います。 結論として、平置きが基本という書き方で構いませんが、合わせて今後継続的に検討していく事項であり、検討途中であるが十分な受入体制は整える というような事を書き加えて頂ければと思います。	P18
25	複合施設の全体的なコンセプトについては、私自身も考えていた部分が多分に盛り込まれており非常に良かったと思っております。感謝致します。惜しむらくは、先に少し書いたように 奨学生等経済的に課題があるような或いは疾病等によって満足な学習の機会が得られていない と思っているような学生であっても 十分な学習或いは教養を高めて、その先の生活に結び付けていけるような、その為には何が必要か、そうした事を目標の1つとして複合施設を整備していくべき ではという視点での検討と言うのがあまり出来ていなかったと思っています。今後残り少ないですが、そうした視点での検討が出来ればいいかと思っています。	5章
26	(防災面について) 市民検討会でも意見したように 「安全・安心な公園及び施設が大切 」と考えます。特に今回は複合型の施設で多くの方の利用が見込まれる中で、防災・減災の観点からも耐震性能・防火等消防設備の充実を図るとともにフロアごとの違いもあるので避難経路の表示の仕方や誘導方法など大規模な災害や火災が起きても利用者が安心して避難できる構造にしなければならぬと考えます。「複数階に利用者がいる事」は、今は違う部分であります。	
27	(駐車場について) 駐車場については図書館跡地を平面駐車場にというお考えがあるという事ですが、 まずは周辺の安全面に配慮いただいたうえで出入口を設定していただきたい と思います。特に、現在のことも園側に出口があるのは良いことではありません。ガードレールがあるので突っ込んで来ませんが、ガードレールの切れ目は車がすれ違うとき車が歩道まで大きくはみ出しますので、危険なことがあります。人と車が安全に通行できる整備をお願いしたいです。また、駅方面から来た時の視界の広がり(公園を眺める)は、今回のまちづくりのウォークアブルな視点から外せないと思いますので、駐車場を少し引込めるなど視界と足元の広がりが感じられるよう工夫をしていただきたいと思います。	
28	(当初計画案と現在のパターンとの違い) いちばん初めの当初計画案では、パブコメでの意見や要望書が提出されるなど多くの課題があった。市民検討会を経て基本計画案を策定するうえで、 当初計画案と現行案の違い・比較などを説明することも必要 ではないかと考えます。 ※地域の方の中には、公園内に複合施設を建設するのは当初計画案と何も変わっていないと感じる方もいると聞いています。	
29	(検討いただきたいこと) 基本計画が策定された後 に、いよいよ実現に向けて動き出すと思います。私達、市民検討委員の役目も一旦終わることになりますが、今まで話し合われてきたことが違う方向に行かぬように市民検討会を代表する数名の方(どう選出するかは要検討)には何らかのかたちで見守っていただき、 完成するまでは資料等を提供していただくなど必要に応じて意見を述べる ことができるようにしてほしいと思っています。私的には完成したときに話し合ってきたことが達成できたのかを確認するまでが市民検討委員の使命であると感じています。また、まちづくりWGはまだ終わりではなく施設ができた後まで必要な位置づけと考えていますので、地区のまちづくり会議に内容を引き継ぐなり、まちづくりWGの方を新たに地区のまちづくり会議のメンバーに入れていただくなど、 この市民検討会で進めてきたことが将来的に地域に反映されるようにすることが重要 であると思えます。	